

| | | | |
|-----------|---------|----------|----------|
| 人体の構造と機能Ⅱ | 1年・前期 | 1単位 15時間 | 講師 市村路子 |
| 科目カテゴリー | 看護の対象理解 | 科目ナンバリング | 32110221 |

1. 授業のねらい・概要

看護学生が看護の対象である人間を理解するためには、その生物学的側面である人体の構造と機能を学習する必要がある。人体の構造と機能の科目では、解剖学と生理学を有機的に結びつけて学習し、学生がこれを体系的に理解できるようになることを目的とする。Ⅱでは、循環器系、呼吸器系について学ぶ。

2. 学修の到達目標

1. 心臓の4つの部屋と出入りする4つの血管、刺激伝道系の構造と機能を説明できる。(D-2)
2. 心臓の機能を説明できる。(D-2)
3. 脈管系(動脈・静脈・リンパ管)の構造と機能を説明できる。(D-2)
4. 上気道・下気道の構造と機能を説明できる。(D-2)
5. 呼吸のプロセスと調節について説明できる。(D-2)

3. 授業の進め方

テキストに基づいた講義を中心に進めるが、動画の視聴や参考資料のプリントの配布も行う。

【アクティブ・ラーニング実施有無】

アクティブ・ラーニングとして小テストを行う。

【ICT活用の有無】

実施なし

4. 授業計画 (講義)

| 回 | 授業内容 | 授業形態 | 事前事後学修(学修課題) | 担当 |
|---|--------------------------------------|------|--|------|
| 1 | 循環器系 1) 心臓①P150～153 P173～179 | 講義 | 予習：事前に指定されたテキストの講義範囲を読み、不明点を把握して授業に臨む。 復習：講義で強調されたテキストの内容を確認し、配布プリントと照らし合わせる。 | 市村路子 |
| 2 | 循環器系 2) 心臓②P180～185 血管①P186～189 | 講義 | 予習：事前に指定されたテキストの講義範囲を読み、不明点を把握して授業に臨む。 復習：講義で強調されたテキストの内容を確認し、配布プリントと照らし合わせる。 | 市村 |
| 3 | 循環器系 3) 血管②P190～195 リンパ系 P204・205 | 講義 | 予習：事前に指定されたテキストの講義範囲を読み、不明点を把握して授業に臨む。 復習：講義で強調されたテキストの内容を確認し、配布プリントと照らし合わせる。 | 市村 |
| 4 | 循環器系 4) 血管③P196～203 | 講義 | 予習：事前に指定されたテキストの講 | 市村 |

| | | | | |
|---|--------------------------------|----|--|----|
| | | | 義範囲を読み，不明点を把握して授業に臨む。 復習：講義で強調されたテキストの内容を確認し，配布プリントと照らし合わせる。 | |
| 5 | 呼吸器系 1) 役割，鼻腔，咽頭，喉頭 P210～222 | 講義 | 予習：事前に指定されたテキストの講義範囲を読み，不明点を把握して授業に臨む。 復習：講義で強調されたテキストの内容を確認し，配布プリントと照らし合わせる。 | 市村 |
| 6 | 呼吸器系 2) 気管と主気管支，肺 P223～234 | 講義 | 予習：事前に指定されたテキストの講義範囲を読み，不明点を把握して授業に臨む。 復習：講義で強調されたテキストの内容を確認し，配布プリントと照らし合わせる。 | 市村 |
| 7 | 呼吸器系 3) 呼吸のプロセス P235～246 | 講義 | 予習：事前に指定されたテキストの講義範囲を読み，不明点を把握して授業に臨む。 復習：講義で強調されたテキストの内容を確認し，配布プリントと照らし合わせる。 | 市村 |
| 8 | 呼吸器系 4) 呼吸の調節 P247～253 定期試験 | 講義 | 予習：事前に指定されたテキストの講義範囲を読み，不明点を把握して授業に臨む。 復習：定期試験で間違ったところを中心に復習する。 | 市村 |

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は 3 分の 2 以上の出席した者）80%，提出物 20%で，総合的に評価する。但し，どちらか一方でも合格基準（60%）に満たない場合には，単位認定できない。評価対象物は，「2. 学修の到達目標」に示した達成状況を，ルーブリック評価表を基に，5 段階評価で採点する。尚，ルーブリック評価表に関する詳細は，第 1 回講義内で別途説明する。

定期試験の出題範囲はおよび出題方法等は，事前に口頭で提示する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：武田裕子，林正健二編（2023）：ナーシング・グラフィカ人体の構造と機能①解剖生理学第 5 版，メディカ出版。

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な内容

シラバスの授業計画の範囲について最低 90 分以上の予習及び，授業内容について 90 分以上の復習を行うこと。

8. 受講上の留意事項

遅刻，欠席ならびに授業中の私語，許可の無い教室の出入り，授業に関係ない言動は慎むこと。

9. 課題に対するフィードバックの方法

提出された課題は教員が内容をチェックして返却する。内容の不備なものは再提出を求める。試験終了後口頭で試験問題の解答解説を行うか，解答を掲示する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目である。（履修要項・学生便覧参照）

11. 該当する本授業は、以下の実務経験を活かして実施される

医療機関における看護師としての実務経験を活かして、講義を行う。